



水稻 (福井米)

病虫害防除速報

ニカメイチュウの発生に注意!!

J A 福井県
福井基幹支店

管内でニカメイチュウの被害が拡大しています。

ニカメイチュウは、幼虫が水稻の茎や芯葉に食入し、心枯れや変色茎などの被害をもたらします。発生源は、稲わらや刈株などで越冬した幼虫で、5月下旬ごろに羽化し、水田へと飛来します。今年のニカメイガ第1世代の発生最盛期は平年より早く7月15日頃となる見込みです。近年は、一部の地域では被害が拡大しています。例年、発生が見られる地域や箱施用剤を使用していない場合は、前年以上の甚大な被害も予想されるので、遅れずに防除しましょう。

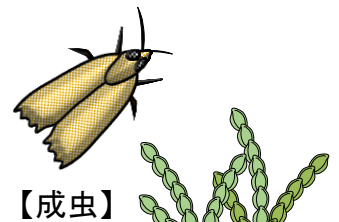
1. ニカメイチュウ(ニカメイガ)

【予察】

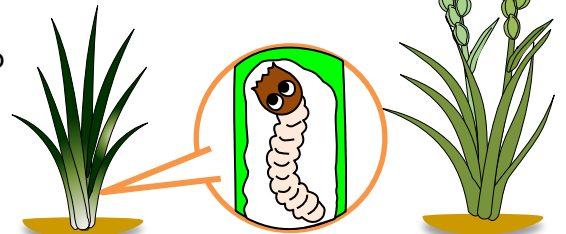
- 第2世代の幼虫加害初期は平年より早い7月20日頃となる見込み
- 被害程度は地域によって多発
- 発生量は平年、前年より多い

【防除ポイント】

- 粒剤は7月15日頃、粉剤・液剤は7月20日頃に防除する
- 前年の多発地や芯枯れがみられるところは特に注意する
- 箱施薬を散布しなかった圃場
- 直播や熟期が遅い品種(あきさかり・日本晴等)を作付けした圃場



【成虫】

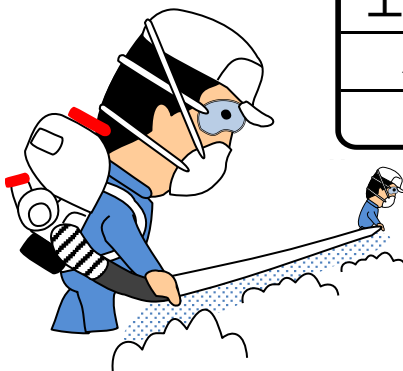


【幼虫】

2. 防除薬剤

既に発生している圃場では6月末頃から、茎が黄色く変色する「心枯れ」が見られます。「心枯れ」の株の割合が10%を超える場合は、箱施薬をしている圃場でも防除を行ってください。

薬剤名	10a当たり散布量	使用基準
エルサン粉剤3DL	3kg	収穫7日前まで
パダン粉剤DL	3~4kg	収穫21日前まで
パダン粒剤4	3~4kg	収穫30日前まで



【注意】

使用される農薬の使用基準を遵守しましょう。粒剤使用の場合は湛水状態を1週間程度保ってください。



適期防除で収量・品質向上を目指しましょう。病虫害防除速報は『福井基幹支店』が担当しました。